

奨学制度

勉学の意欲を持ちながらも、経済的に就学が困難で、かつ成績・人物ともに優秀な学生に対し、慶應義塾大学には以下のような奨学金・経済支援制度があります。

学部生対象 (2017年度実績)

名称	種別	金額	期間	採用人員	備考
国際人材育成資金・基金	給付	最高400,000円	1年	108名	留学等の海外学習を支援することを目的とする
慶應義塾大学理工学部同窓会奨学金	給付	年額600,000円	1年	12名	第2学年以上 毎年出願可能
慶應義塾大学給費奨学金	給付	年額500,000円	1年	41名	第2学年以上 毎年出願可能
慶應義塾創立150年記念奨学金	給付	100,000円～300,000円	年1回	9名	海外短期留学、国際学会発表等が対象
慶應義塾維持会奨学金	給付	年額800,000円	1年	24名	毎年出願可能 首都圏以外の道府県出身者が優先
指定寄付奨学金	給付	年額100,000円～500,000円	1年	37名(13団体)	毎年出願可能 学年・出身地など資格に限られる場合がある
慶應義塾大学修学支援奨学金	給付	年額 授業料の範囲内	1年	22名	毎年出願可能
学問のすゝめ奨学金	給付	年額600,000円	標準修業年限	37名	入学前予約型 地方出身者対象
民間団体奨学金	給付	年額180,000円～1,200,000円	1年または最短修業年限(財団によって異なる)	55名(30団体)	学部・出身地など資格に限られる場合がある
日本学生支援機構奨学金	第1種	自宅通学 月額54,000円 自宅外通学 64,000円	最短修業年限	356名	無利子
	第2種	月額 30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円(選択)	最短修業年限	371名	有利子

(注) 上表は理工学部生だけの奨学生数です。

また、民間団体奨学金にはこの他に貸与のものがあります。

上記以外に「慶應義塾大学教育ローン制度」が設置されています。

詳細は、ウェブサイトを参照してください。

奨学制度についてのお問い合わせ先

●奨学制度に関するウェブサイト

<http://www.gakuji.keio.ac.jp/life/shogaku/index.html>

就職・進路サポート

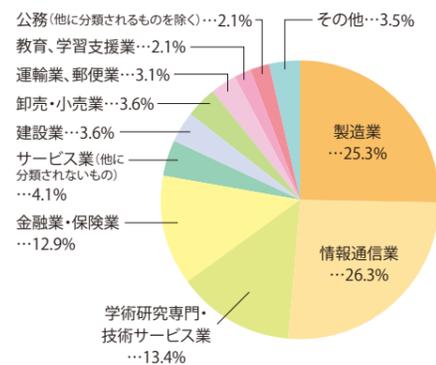
就職・進路相談

各学科1名または2名の就職担当教員が、企業の採用担当者との面談に基づく情報によって学生の相談に対応し、個人の適性に配慮した進路指導を実施しています。また、学生課キャリア支援窓口でも学生の就職進路に関する各種の質問や相談を受け付けています。

卒業後の進路データ

慶應義塾大学理工学部での4年間で身につけた「創発する力」を社会のさまざまなフィールドで発揮する学生、さらなる研究のために進学する学生と、幅広い選択肢が待っています。

【学部卒】



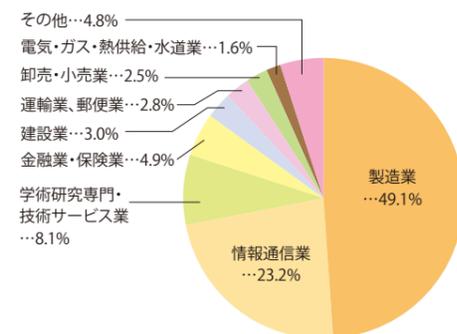
就職関係講座の開催

基本的な内容を伝える就職ガイダンスの他に、就職活動時のマナー、自己理解、業界研究、エントリーシート対策、面接対策などの各種講座を開催しています。

理工学部学生課キャリア支援担当ウェブサイト

<https://www.st.keio.ac.jp/students/career/index.html>

【修士修了】



慶應義塾大学理工学部 ウェブサイト



慶應義塾大学理工学部のウェブサイトです。受験生向けの入試情報や理工学部の概要から在学生向けの学内ニュースやイベントまで理工学部に関する情報が網羅されています。理工学部について知りたいなら、まずはここにアクセス。

<https://www.st.keio.ac.jp/>



新版・窮理図解

注目の若手研究者の研究紹介から、興味の対象、人となりまでわかりやすく伝えるコラムです。

<https://www.st.keio.ac.jp/education/kyurizukai/>



学問のすゝめ

教員が自身の専門的な研究内容を、平易な表現でわかりやすく解説しているコラムです。

<https://www.st.keio.ac.jp/education/learning/>



在学生インタビュー

理工学部の在学生が本学での学びや体験、キャンパスライフを、インタビュー形式でありのまま伝えるコラムです。

<https://www.st.keio.ac.jp/departments/student/>



塾員来往

社会で活躍している塾員(卒業生)が、学生時代の経験や現在の活動を紹介する卒業生コラムです。

https://www.st.keio.ac.jp/departments/ob_relay/

医工連携プロジェクト



高度医療と超成熟社会発展のためには理工学部が有する科学技術力が欠かせません。慶應義塾大学理工学部では、従来より医学系・薬学系研究者との研究連携を進めています。その領域は単なる医学的な研究にとどまらず、近年はロボット、認知科学、さらにはビッグデータ利用といったところまで広がりを見せています。

https://www.st.keio.ac.jp/education/research/me_index.html

医工連携の例

医用材料・薬剤開発

がん細胞浸潤メカニズムの解析

システムデザイン工学科 須藤 亮 准教授

診断・評価支援

Deep Learningを用いた脊柱配列推定による側弯症スクリーニング

電子工学科* 青木 義満 教授

眼病検査のための涙液タンパク質分析試験紙

応用化学科 チツェリオ・ダニエル 教授

針状ダイヤモンド電極でがんバイオマーカーを簡便に生体内測定

化学科 栄長 泰明 教授

治療・手術支援

歯科インプラント手術シミュレータの開発

機械工学科 高野 直樹 教授

※ 2020年度からは電気情報工学科に名称を変更予定